

# 事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	シート区分	ページ
51311	農業集落排水処理施設維持管理事業	公営企業局	下水道管理課	シートA	2
51311	管渠改良事業	公営企業局	下水道管理課	シートB	3
51311	他事業関連改築事業	公営企業局	下水道管理課	シートA	5
51311	既設管維持管理事業	公営企業局	下水道管理課	シートA	6
51311	マンホールポンプ等管理事業	公営企業局	下水道管理課	シートA	7
51311	下水道台帳整備事業	公営企業局	下水道管理課	シートA	8
51321	公共下水道接続推進事業	公営企業局	下水道管理課	シートA	9
51321	宅内柵設置資金貸付事業	公営企業局	下水道管理課	シートA	10
51321	私道管渠整備事業	公営企業局	下水道管理課	シートB	11
51321	公共柵設置事業	公営企業局	下水道管理課	シートB	13

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道管理課	担当グループ名	維持管理	連絡先	948-6489				
	部等長名	花山 康司	課等長名	小川 安博	リーダー名	副主幹	富野浩司	担当者名	主任	青木 俊介	技師	米田 昂史
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道管理課	担当グループ名	維持管理	連絡先	948-6489				
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	小川 安博	リーダー名	副主幹	富野浩司	担当者名	主任	青木 俊介	技師	米田 昂史

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	51311	農業集落排水処理施設維持管理事業				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	快適な生活基盤をつくる					重点プロジェクト	-		
施策	下水道等の整備					主な取り組み	-		
主な取り組み	下水道の管理・更新				市長公約				
取り組みの柱	計画的な点検調査により、適切に維持管理するとともに、長寿命化計画の策定による効率的な修繕・改築を実施し、下水道施設の延命化と不明水の抑制を図ります。								
総合戦略	基本目標	-			取組み	-			
	政策	-							
	施策	-							
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等		松山市農業集落排水処理施設管理条例							
事業の目的(どのような状態にするか)	農業集落排水処理施設の管渠の維持管理を行う。								
背景(どのような経緯で開始したか)	農業集落排水処理施設(大浦地区)を設け、管渠を整備したため								
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	農業集落排水処理施設(大浦地区)の維持管理を適正に実施し、快適な生活環境を維持する。								
受益者負担の状況	負担の有無	/			「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由	/			
始期・終期(年度)	/	~	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	下水道事業会計	款	農業集落排水事業費用	項	営業費用	目	管渠費	R3予算措置時期	当初
				R2年度		R3年度		R4年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				400		400		400		
決算額(B)(単位:千円)				0		0		0		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0		0		
	県支出金			0		0		0		
	市債			0		0		0		
	その他			0		0		0		
	一般財源			0		0		400		
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算				/		予算執行なし		修繕費:400		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等				/		/		/		
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		400		400		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	農業集落排水処理施設(大浦地区)の維持管理を適正に実施し、住民の快適な生活環境を維持する。									
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		管渠の詰まり,清掃等の問い合わせに対する維持管理業務は幸いにも小規模であったため,予算を執行することなく,直営作業によって適正な維持管理を行った。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		適正な維持管理に寄与しているため					
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特に無し			
R4年度の目標	施設の適正な維持管理に努める。				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		汚水管渠の修繕工事等,維持管理を行う。			

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道管理課	担当グループ名	計画・工事	連絡先	948-6956				
	部等長名	花山 康司	課等長名	小川 安博	リーダー名	主幹	森 裕嗣	担当者名	副主幹	高岡 英文	副主幹	田中 宏幸
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道管理課	担当グループ名	計画・工事	連絡先	948-6956				
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	小川 安博	リーダー名	副主幹	高岡 英文	担当者名	主任	柿内 正徳	主任	澤田 義之

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	51311	管渠改良事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	313	個別プログラム	笑顔を守るプログラム
政策	快適な生活基盤をつくる				重点プロジェクト	みんなで守り助け合う「安心して暮らせるまちづくり」プロジェクト
施策	下水道等の整備				主な取り組み	耐震化対策の推進
主な取り組み	下水道の管理・更新		市長公約			
取り組みの柱	計画的な点検調査により、適切に維持管理するとともに、長寿命化計画の策定による効率的な修繕・改築を実施し、下水道施設の延命化と不明水の抑制を図ります。					
総合戦略	4223	基本目標	④住み続けたいまちをつくる(持続可能なまちづくり)		取組み	③ 地震等の災害に備え、水道事業では主要な水道管である基幹管路の耐震化を進めます。さらに、救急医療機関や指定避難所となる小中学校など重要施設への給水ルートを確認するため、計画的に水道管の耐震化を進めます。また、下水道事業では平常時から机上型訓練を実施し、被災時に十分機能する体制を強化するとともに、施設の耐震化及び災害用トイレの設置を行います。さらに、大きな浸水被害等が想定される箇所に対し、重点的な対策を計画的に進めます。
		政策	②生活の質と都市力の向上			
		施策	②安全・安心な暮らしの推進			
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)		1:有り	

根拠法令,条例,個別計画等	第4次松山市下水道整備基本構想、ストックマネジメント計画、下水道総合地震対策計画					
事業の目的(どのような状態にするか)	下水道施設(管渠等)の恒久的な使用を目標とし、適切な維持管理を行うことで健全で持続可能な下水道事業を実施し、安定した住民サービスの継続を図る。					
背景(どのような経緯で開始したか)	ストックマネジメント事業は令和元年度から「下水道ストックマネジメント支援制度」(平成28年度に国が創設)を利用し、耐震化事業については、平成20年度から実施している。いずれも、第4次松山市下水道整備基本構想等に基づき、計画的に下水道管渠の長寿命化及び耐震化を図る。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	今後も老朽化していく下水道管渠等に対し、第4次松山市下水道整備基本構想及びストックマネジメント計画に基づき、管内調査を実施し損傷度の判定を行い、長寿命化対策として非開削工法で内面の補強を実施し、既設下水道管渠の改築更新を行っている。耐震化事業は、同じく第4次松山市下水道整備基本構想に基づき、重要な路線のうち平成9年度以前の耐震基準で整備された管渠について調査診断を行い、結果に応じた耐震対策を実施している。					
受益者負担の状況	負担の有無	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由				
始期・終期(年度)		～ 令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	下水道事業会計	款	公共下水道事業費用 公共下水道資本的支出		事業費用 下水道施設改良費		目	管渠業 管渠改良費	R3 予算措置時期	当初	繰越
				項								
				R2年度		R3年度		R4年度				
現計予算額(A)(単位:千円)				1,399,016		979,486		767,043				
決算額(B)(単位:千円)				755,656		626,290						
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			342,449		279,847		124,945				
	県支出金			0		0		0				
	市債			314,400		249,700		424,200				
	その他			98,807		12,195		0				
一般財源			0		84,548		217,898					
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						工事請負費:496,061 委託料:129,769		工事請負費:638,484 委託料:124,245				
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						決算額のうち606,799は前年度繰越分 流用による増あり R3年度から内部留保資金は一般財源に区分		予算額のうち437,980は前年度繰越分				
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		643,360		353,196				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	下水道管の老朽化対策として長寿命化工事 L=1.8kmを実施した。 下水道管の地震対策として耐震化工事 L=0.6kmを実施した。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	全体として目標どおりである。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	生活環境の保全を図っているため			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組み改善策		特に無し	
R4年度の目標	下水道管の老朽化対策や地震対策として合計で4.6kmの対策工事を行い、健全で持続可能な下水道事業を実施する。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		下水道管の老朽化対策や地震対策として合計で4.6kmの対策工事を発注する。	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	長寿命化率(中央処理区の一部管渠対象)	km	目標値		15.2				目標値	15.2	
			実績値		2.9				達成年度	R2年度	
			% 達成度		19.1						
	指標の種類	3.累計での増加を目指す指標							最終目標値の設定の考え方	下水道長寿命化計画に基づき定めた、長寿命化対策の目標延長	
	本指標の設定理由	下水道管渠の長寿命化対策									
	長寿命化率(全処理区の一部管渠対象)	km	目標値				2.7	4.5	6.0	目標値	6.0
			実績値				1.8			達成年度	R5年度
			% 達成度				67				
	指標の種類	3.累計での増加を目指す指標							最終目標値の設定の考え方	ストックマネジメント計画に基づき定めた、長寿命化対策の目標延長	
	本指標の設定理由	下水道管渠の長寿命化対策									
	耐震化率(中央・西部処理区の一部管渠対象)	km	目標値		4.5	6.0		7.4		目標値	7.4
			実績値		17.6	18.2				達成年度	R4年度
% 達成度				391.1	303.3						
指標の種類	3.累計での増加を目指す指標							最終目標値の設定の考え方	下水道総合地震対策計画に基づき定めた、耐震化対策の目標延長		
本指標の設定理由	下水道管渠の耐震対策										
成果指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			% 達成度								
	指標の種類								最終目標値の設定の考え方		
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類								最終目標値の設定の考え方		
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類								最終目標値の設定の考え方			
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	全体として目標どおりである									
	成果指標										
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道管理課	担当グループ名	維持管理	連絡先	948-6489				
	部等長名	花山 康司	課等長名	小川 安博	リーダー名	副主幹	富野浩司	担当者名	主任	青木 俊介	技師	米田 昂史
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道管理課	担当グループ名	維持管理	連絡先	948-6489				
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	小川 安博	リーダー名	副主幹	富野浩司	担当者名	主任	青木 俊介	技師	米田 昂史

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	51311	他事業関連改築事業				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	快適な生活基盤をつくる					重点プロジェクト	-		
施策	下水道等の整備					主な取り組み	-		
主な取り組み	下水道の管理・更新				市長公約				
取り組みの柱	計画的な点検調査により、適切に維持管理するとともに、長寿命化計画の策定による効率的な修繕・改築を実施し、下水道施設の延命化と不明水の抑制を図ります。								
総合戦略	基本目標	-			取組み	-			
	政策	-							
	施策	-							
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等		下水道法第1条及び第3条第1項							
事業の目的(どのような状態にするか)	老朽化した下水道施設(マンホール蓋・管渠等)の適切な維持管理を目的とする。								
背景(どのような経緯で開始したか)	主に国・県・市が行う道路事業により、新設または拡幅される道路などに埋設されている下水道施設を、その工事に併せて施工することにより経費の削減と事故の未然防止に努める。								
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	国・県・市が道路事業を行う場合に、古くなった下水道マンホール蓋を同時に取り換えることで、経費の削減と事故の未然防止に努める。								
受益者負担の状況	負担の有無	/			「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由	/			
始期・終期(年度)	/	~	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	下水道事業会計	款	公共下水道事業費用 公共下水道資本的支出		事業費用 下水道施設改良費		管渠事業 管渠改良費		R3予算措置時期	当初	繰越
				項	目	目	目					
				R2年度		R3年度		R4年度				
現計予算額(A)(単位:千円)				130,000		234,200		275,668				
決算額(B)(単位:千円)				55,792		154,290		46,000				
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0		0				
	県支出金			0		0		0				
	市債			0		0		0				
	その他			55,792		29,814		46,000				
一般財源			0		124,476		229,668					
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算				工事請負費:56,572 修繕費:48,211 委託料:33,340		工事請負費:146,000 修繕費:90,000 負担金:39,668						
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等				決算額のうち80,541は前年度繰越分 流用による減あり R3年度から内部留保資金は一般財源に区分		予算額のうち41,000は前年度繰越分						
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B) 74,208		79,910						

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	国・県・市の道路事業に伴う下水道マンホール蓋取替及び高さ調整:約500箇所											
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下			左記の理由として良かった点,悪かった点など			関係機関と調整を行い予定通り実施できた。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		下水道施設の効率的な維持管理に寄与しているため							
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない				公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し					環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策			特に無し			
R4年度の目標	他機関と連携し、事業を効率的に行い、経費削減と事故防止に努める。					R4年度の主な取り組み内容(予定含む)			国・県・市の道路事業に伴う、下水道マンホール蓋の取替及び高さ調整約500箇所			

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道管理課	担当グループ名	維持管理	連絡先	948-6489				
	部等長名	花山 康司	課等長名	小川 安博	リーダー名	副主幹	富野浩司	担当者名	主任	青木 俊介	技師	米田 昂史
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道管理課	担当グループ名	維持管理	連絡先	948-6489				
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	小川 安博	リーダー名	副主幹	富野浩司	担当者名	主任	青木 俊介	技師	米田 昂史

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	51311	既設管維持管理事業				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】				笑顔プログラム	個別プログラム	-			
政策	快適な生活基盤をつくる					重点プロジェクト	-			
施策	下水道等の整備					主な取り組み	-			
主な取り組み	下水道の管理・更新				市長公約					
取り組みの柱	計画的な点検調査により、適切に維持管理するとともに、長寿命化計画の策定による効率的な修繕・改築を実施し、下水道施設の延命化と不明水の抑制を図ります。									
総合戦略	基本目標	-				取組み	-			
	政策	-								
	施策	-								
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等	下水道法第1条及び第3条第1項									
事業の目的(どのような状態にするか)	市民生活に支障がないよう施設の適切な維持管理を行うことを目的とする。									
背景(どのような経緯で開始したか)	下水道施設に起因する事故を未然に防止するため									
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	下水道処理区内の下水道施設の巡視を行い、点検・調査により判明した危険箇所・破損箇所の修繕を行う。(陥没補修工事・汚水管補修工事・汚水管清掃業務委託など)									
受益者負担の状況	負担の有無	/			「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由	/				
始期・終期(年度)	/	~	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検計時期				

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	下水道事業会計	款	公共下水道事業費用 公共下水道資本的支出		事業費用 下水道施設改良費		下水道事業 管渠改良費		R3予算措置時期	当初
				項	目	目	目				
				R2年度		R3年度		R4年度			
現計予算額(A)(単位:千円)				105,276		80,821		144,232			
決算額(B)(単位:千円)				73,413		65,447					
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			28		23		7,674			
	県支出金			0		0		0			
	市債			0		0		0			
	その他			73,385		0		0			
一般財源			0		65,424		136,558				
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算				/		修繕費:29,567 委託料:17,817 材料費:16,296		委託料:88,260 修繕費:38,261 工事請負費:10,000			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等				/		流用による減あり R3年度から下水道使用料等は一般財源に区分					
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		31,863		15,374			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	管渠・樹等の補修件数:約70件										
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下			左記の理由として良かった点,悪かった点など			予防保全対策として事業を実施した結果、適切な維持管理を行うことができた。			
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		下水道施設の効率的な維持管理に寄与しているため						
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない				公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策				特に無し		
R4年度の目標	健全な下水道施設を保つため、適切な維持管理に努める。				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)				管渠・樹等の補修件数:約80件		

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道管理課	担当グループ名	維持管理	連絡先	948-6489				
	部等長名	花山 康司	課等長名	小川 安博	リーダー名	副主幹	富野浩司	担当者名	技師	佐々木 純子	技師	米田 昂史
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道管理課	担当グループ名	維持管理	連絡先	948-6489				
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	小川 安博	リーダー名	副主幹	富野浩司	担当者名	主任	青木 俊介	技師	米田 昂史

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	51311	マンホールポンプ等管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	下水道等の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	下水道の管理・更新		市長公約	-		
取り組みの柱	計画的な点検調査により、適切に維持管理するとともに、長寿命化計画の策定による効率的な修繕・改築を実施し、下水道施設の延命化と不明水の抑制を図ります。			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	下水道法第1条及び第3条第1項					
事業の目的(どのような状態にするか)	市民生活に支障がないようマンホールポンプ等の適正な維持管理を行うことを目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	マンホールポンプの不具合等に起因する事故を未然に防止するため					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	マンホールポンプ31箇所・濾過スクリーン3箇所・ゲート2箇所の維持管理業務を実施する。また、上記施設の定期点検業務と緊急対応業務について業務委託を発注する。					
受益者負担の状況	負担の有無	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由		-		
始期・終期(年度)	~	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	下水道事業会計	款	公共下水道事業費用 公共下水道資本的支出		営業費用 下水道施設改良費		目	管理費 管理改良費	R3予算措置時期	当初
				R2年度	R3年度	R3年度	R4年度				
現計予算額(A)(単位:千円)					30,292				25,960		26,215
決算額(B)(単位:千円)					25,810				20,167		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳			国支出金		0				0		0
			県支出金		0				0		0
			市債		0				0		0
			その他		25,810				0		0
			一般財源		0				20,167		26,215
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算								工事請負費:7,443 修繕費:4,541 委託料:3,651		工事請負費:12,200 委託料:6,281 光熱水費:3,600	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等								流用による減あり R3年度から下水道使用料等は一般財源に区分			
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)		4,482				5,793		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	下水道処理区域内に点在するマンホールポンプ等36箇所を適正に管理する。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	適正な維持管理ができたため		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	下水道施設の効率的な維持管理に寄与しているため			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		
R4年度の目標	マンホールポンプ等の適正な維持管理に努める。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む) 下水道処理区域内に点在するマンホールポンプ等を適切に維持管理する。		

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道管理課	担当グループ名	維持管理	連絡先	948-6489				
	部等長名	花山 康司	課等長名	小川 安博	リーダー名	副主幹	富野浩司	担当者名	主任	青木 俊介	技師	米田 昂史
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道管理課	担当グループ名	維持管理	連絡先	948-6489				
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	小川 安博	リーダー名	副主幹	富野浩司	担当者名	主任	青木 俊介	技師	米田 昂史

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	51311	下水道台帳整備事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	下水道等の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	下水道の管理・更新		市長公約	-		
取り組みの柱	計画的な点検調査により、適切に維持管理するとともに、長寿命化計画の策定による効率的な修繕・改築を実施し、下水道施設の延命化と不明水の抑制を図ります。			-		
総合戦略	基本目標	-		取組み	-	
	政策	-			-	
	施策	-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	下水道法第23条					
事業の目的(どのような状態にするか)	下水道法に基づき下水道台帳を整備し、効率的な下水道施設の維持管理を行う。また、下水道台帳の閲覧者に対し、正確な情報を提供し市民サービスの向上を図る。					
背景(どのような経緯で開始したか)	下水道法第23条第3項により下水道台帳の閲覧を求める者に対して、情報を提供する必要があるため					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	下水道台帳作成業務委託を発注する。 下水道施設が完成した情報を適正に台帳入力する。					
受益者負担の状況	負担の有無	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由		-		
始期・終期(年度)	~ 令和 4		終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	下水道事業会計	款	公共下水道事業費用		目	総務費	R3予算措置時期	当初
				項	営業費用				
				R2年度	R3年度	R4年度			
現計予算額(A)(単位:千円)					21,544		23,962		24,427
決算額(B)(単位:千円)					20,857		25,699		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金				0		0		0
	県支出金				0		0		0
	市債				0		0		0
	その他				20,857		3,379		3,807
一般財源				0		22,320		20,620	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						委託料:20,662 賃借料:5,029		委託料:19,391 賃借料:5,030	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						流用による増あり R3年度から下水道使用料等は一般財源に区分			
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	687		-1,737		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	下水道台帳作成業務委託等を発注する。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定通り実施できたため		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	下水道施設の効率的な維持管理に寄与しているため			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	特に無し	
R4年度の目標	下水道台帳を整備し、正確な情報を提供することで、市民サービスの向上を図る。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	下水道台帳作成業務委託を発注する。 下水道台帳入力業務委託を発注する。 下水道地理情報システム運用支援業務委託を発注する。	



令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道管理課	担当グループ名	総務・普及啓発担当	連絡先	948-6554	
	部等長名	花山 康司	課等長名	小川 安博	リダー名	主幹	永井 信二	担当者名	主任 瀬良 卓
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道管理課	担当グループ名	総務・普及啓発担当	連絡先	948-6554	
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	小川 安博	リダー名	主幹	遠藤 裕之	担当者名	主任 瀬良 卓

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	51321	公共下水道接続推進事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	下水道等の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	下水道の普及促進		市長公約	-		
取り組みの柱	管渠整備にあたっては、投資効果や水質改善効果の高い市内中心部の未普及地域の整備を優先しながら、普及率の向上を目指します。			-		
総合戦略	基本目標	-	取組み	-		
	政策	-		-		
	施策	-		-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	下水道法第10条、第11条、松山市下水道条例第3条					
事業の目的(どのような状態にするか)	法令に定める期間を超えて公共下水道に接続していない家屋を減らすことにより、他の下水道利用者との公平性の確保および下水道事業経営の健全化につなげることを目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	供用開始対象者等が法令に定める期間を超えて公共下水道に接続していない状況が様々な事情から発生してしまうため、その解消と把握のため取り組んでいる。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	対象は法令に定める期間を超えて公共下水道に接続していない建物所有者である。未接続家屋を減らすため、戸別の訪問勧奨や郵送勧奨に重点をおいた取り組みを実施する。					
受益者負担の状況	負担の有無	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由		-		
始期・終期(年度)	~	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	下水道事業会計	款	公共下水道事業費用		目	業務費	R3予算措置時期	当初
				項	営業費用				
				R2年度	R3年度	R4年度			
現計予算額(A)(単位:千円)					3,587		3,240		3,291
決算額(B)(単位:千円)					2,385		3,010		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金				0		0		0
	県支出金				0		0		0
	市債				0		0		0
	その他				2,385		0		0
	一般財源				0		3,010		3,291
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						委託料:2,757		委託料:2,979	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						流用による増あり R3年度から下水道使用料等は一般財源に区分		地元説明会等普及啓発事業の下水道管理課分と統合し、普及啓発事業(下水道管理課分)へ名称変更。	
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)	1,202		230		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	接続勧奨件数:2,867件 接続実績件数:754件					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定通りに事業が実施できたため		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	公共下水道への接続促進を行うことで、下水道事業経営の健全化に寄与しているため			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	特に無し	
R4年度の目標	効果的な接続勧奨の実施により、下水道への未接続理由の把握に努める。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	効果的な接続勧奨を行う。	

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道管理課	担当グループ名	私道・樹工事受付担当	連絡先	948-6457	
	部等長名	花山 康司	課等長名	小川 安博	リダー名	副主幹	二神 大造	担当者名	主任 小松 幹直
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道管理課	担当グループ名	私道・樹工事受付担当	連絡先	948-6457	
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	小川 安博	リダー名	副主幹	二神 大造	担当者名	主任 東倉 一博

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	51321	宅内樹設置資金貸付事業	事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)	事業区分	6:出資金・貸付金
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	下水道等の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	下水道の普及促進		市長公約	-		
取り組みの柱	管渠整備にあたっては、投資効果や水質改善効果の高い市内中心部の未普及地域を整備を優先しながら、普及率の向上を目指します。			-		
総合戦略	基本目標	-		取組み	-	
	政策	-			-	
	施策	-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等	松山市公営企業局宅内ます設置資金貸付規程					
事業の目的(どのような状態にするか)	公共下水道の入口となる、宅内ますを自己負担で設置する際に、工事による経済的負担を考え、資金の貸付を行う援助制度(無利息)により、水洗化の促進を図る。					
背景(どのような経緯で開始したか)	公共下水道と宅内での排水管を接続するための公共ますを、公共下水道の本管工事期間中に敷地内に設置しなかった者が、工事完了後に設置を希望する場合は、平成28年4月から原則自己負担となったため、支援制度として開始した。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	公共下水道処理区域で、公共下水道に切替接続するための宅内ますを、自己負担で設置する者 貸付対象者:市県民税、固定資産税及び受益者負担金を滞納していないこと。宅内ますを設置する土地の所有者で、設置した宅内ますを公共ますとして寄付すること。 貸付金額:土地1か所につき60万円以内 申請方法:貸付金の申請書を市に提出し、改修工事完了後、設置工事完了書を市に提出、その後、完了検査を受けて、貸付金を支払う。					
受益者負担の状況	負担の有無	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由				
始期・終期(年度)	平成 28	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	下水道事業会計	款	公共下水道資本的支出		長期貸付金	目	宅内樹設置資金貸付金	R3予算措置時期	当初
				R2年度	R3年度					
現計予算額(A)(単位:千円)				6,000				6,000		3,000
決算額(B)(単位:千円)				0				0		0
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0				0		0
	県支出金			0				0		0
	市債			0				0		0
	その他			0				0		0
	一般財源			0				0		3,000
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						予算執行なし		宅内樹設置資金貸付金:3,000		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)	6,000				6,000		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	宅内ますを自己負担で設置しようとする者に、設置資金(無利息)の貸付を行う。(R3年度実績0件)					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	申請が無かったため		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	4:どちらもない	左記の理由	申請が無かったため			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し			環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	特に無し	
R4年度の目標	設置資金(無利息)の貸付を行い、水洗化率の向上に努める。			R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	設置資金(無利息)の貸付を行う。	

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道管理課	担当グループ名	私道・樹工事受付担当	連絡先	948-6457	
	部等長名	花山 康司	課等長名	小川 安博	リーダー名	副主幹	二神 大造	担当者名	主任 小松 幹直
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道管理課	担当グループ名	私道・樹工事受付担当	連絡先	948-6457	
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	小川 安博	リーダー名	副主幹	二神 大造	担当者名	主任 東倉 一博

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	51321	私道管渠整備事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	下水道等の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	下水道の普及促進		市長公約	-		
取り組みの柱	管渠整備にあたっては、投資効果や水質改善効果の高い市内中心部の未普及地域を整備を優先しながら、普及率の向上を目指します。			-		
総合戦略	基本目標	-	取組み	-		
	政策	-		-		
	施策	-		-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			

根拠法令,条例,個別計画等	私道における公共下水道敷設要綱					
---------------	-----------------	--	--	--	--	--

事業の目的(どのような状態にするか)	住民の費用負担が大きい、私道への下水道管敷設を市が施工、又は費用の助成をすることにより、水洗便所への切り替えを促進し、公衆衛生の向上と公共用水域の水質の保全に資する。					
背景(どのような経緯で開始したか)	建設省通達の水洗便所普及促進要領4(6)(昭和47.9.28)で要件を満たす私道は、後日の紛争の予防措置を講じた上で、公共下水道として管渠を整備し、又は私道排水設備設置の助成を行うよう努めるものとされた。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	公共下水道が整備されている公道に通じる私道を対象に、一定の要件を満たす場合、沿線にお住まいの方等の申請に基づき、公共下水道を整備する。					
受益者負担の状況	負担の有無	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由				
始期・終期(年度)	昭和 47	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	下水道事業会計	款	公共下水道資本的支出		目	管渠建設費	R3 予算措置時期	当初	繰越
				項	費					
				R2年度		R3年度		R4年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				460,955		737,992		355,820		
決算額(B)(単位:千円)				265,564		353,435				
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			16,355		18,180		13,425		
	県支出金			0		0		0		
	市債			142,700		287,100		257,800		
	その他			106,509		5,283		7,380		
	一般財源			0		42,872		77,215		
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						工事請負費:308,540 補償費:30,369		工事請負費:266,596 補償費:50,500		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						決算額のうち256,711は前年度繰越分 流用による減あり R3年度から内部留保資金は一般財源に区分		予算額のうち121,281は前年度繰越分		
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		195,391		384,557		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	申請に基づき、予算の範囲内で公共下水道を整備する。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定通り実施できたため		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	生活環境の改善や公共用水域の水質保全が図られているため			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特に無し	
R4年度の目標	下水道処理人口普及率 65.6%		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		石井2号汚水管工事 外	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標	
活動指標 (3つまで設定可)	申請件数	件	目標値	—	—	—	—	—	目標値	
			実績値	12	13	13			達成年度	
			達成度	—	—	—				
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由									
			%	目標値						目標値
				実績値						達成年度
				達成度						
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由									
			%	目標値						目標値
				実績値						達成年度
達成度										
指標の種類				最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由										
成果指標 (3つまで設定可)	下水道処理人口普及率(市内5処理区)	%	目標値	63.6	64.3	65.0	65.6	66.3	目標値	69.0
			実績値	63.8	64.7	65.2			達成年度	R8年度
			達成度	100.3	100.6	100.3				
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標			最終目標値の設定の考え方		第4次松山市下水道整備基本構想に設定している目標			
	本指標の設定理由	第4次松山市下水道整備基本構想に基づいて設定している								
			%	目標値						目標値
				実績値						達成年度
				達成度						
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由									
			%	目標値						目標値
				実績値						達成年度
達成度										
指標の種類				最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由										
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	市民からの申請事業であり、市が計画して施工するものではないが、予定より申請件数が少なかった								
	成果指標	投資効果が高い路線を重点的に整備した結果、目標普及率を達成することができた								
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容										

令和4年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道管理課	担当グループ名	私道・樹工事受付担当	連絡先	948-6457	
	部等長名	花山 康司	課等長名	小川 安博	リーダー名	副主幹	二神 大造	担当者名	主任 小松 幹直
令和3年度	部局等名	公営企業局	課等名	下水道管理課	担当グループ名	私道・樹工事受付担当	連絡先	948-6457	
	部等長名	白石 邦彦	課等長名	小川 安博	リーダー名	副主幹	二神 大造	担当者名	主任 東倉 一博

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(実施コード)	51321	公共樹設置事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	快適な生活基盤をつくる			重点プロジェクト	-	
施策	下水道等の整備			主な取り組み	-	
主な取り組み	下水道の普及促進		市長公約	-		
取り組みの柱	管渠整備にあたっては、投資効果や水質改善効果の高い市内中心部の未普及地域を整備を優先しながら、普及率の向上を目指します。			-		
総合戦略	基本目標	-		取組み	-	
	政策	-			-	
	施策	-			-	
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し			

根拠法令,条例,個別計画等	松山市下水道条例、水洗便所普及促進要綱4(6)(昭和47.9.28)					
事業の目的(どのような状態にするか)	住民の費用負担が大きい下水道本管への接続を、市が施工、維持管理することにより、水洗便所への切り替えを促進し、公衆衛生の向上と公共用水域の水質の保全に資する。					
背景(どのような経緯で開始したか)	分流方式で排除できる公共下水道の整備の進捗に伴い、公共樹の設置に取り組んでいる。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	分流方式で排除できる公共下水道が整備されている道路に面し、公共樹が設置されていない宅地を対象に、申請に基づき公共樹を設置する。					
受益者負担の状況	負担の有無	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由		-		
始期・終期(年度)	昭和 47	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	下水道事業会計	款	公共下水道資本的支出		目	管渠建設費	R3 予算措置時期	当初	繰越
				項	下水道建設改良費					
				R2年度		R3年度		R4年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				490,525		491,586		460,244		
決算額(B)(単位:千円)				369,039		367,339		-		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳	国支出金			70		546		10,000		
	県支出金			0		0		0		
	市債			251,400		306,200		350,900		
	その他			117,569		8,538		1,040		
	一般財源			0		52,055		98,304		
主な経費(単位:千円) ※R3→決算R4→予算				-		工事請負費:313,899 委託料:46,458		工事請負費:390,159 委託料:68,210		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等				-		決算額のうち171,856は前年度繰越分 流用による増あり R3年度から内部留保資金は一般財源に区分		予算額のうち137,759は前年度繰越分		
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		121,486		124,247		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	申請に基づき、予算の範囲内で公共下水道を整備する。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	予定通り実施できたため		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	生活環境の改善や公共用水域の水質保全が図られているため			
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		特に無し	
R4年度の目標	処理区域内で、申請に基づき公共樹を設置する。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		処理区域内で、申請に基づき公共樹を設置する。	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標	
活動指標 (3つまで設定可)	申請件数	件	目標値	—	—	—	—	—	目標値	
			実績値	363	385	218			達成年度	
			達成度	—	—	—				
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由									
			%	目標値						目標値
				実績値						達成年度
				達成度						
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由									
			%	目標値						目標値
				実績値						達成年度
達成度										
指標の種類				最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由										
成果指標 (3つまで設定可)	下水道処理人口普及率(市内5処理区)	%	目標値	63.6	64.3	65.0	65.6	66.3	目標値	69.0
			実績値	63.8	64.7	65.2			達成年度	R8年度
			達成度	100.3	100.6	100.3				
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標			最終目標値の設定の考え方		第4次松山市下水道整備基本構想に設定している目標			
	本指標の設定理由	第4次松山市下水道整備基本構想に基づいて設定している								
			%	目標値						目標値
				実績値						達成年度
				達成度						
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由									
			%	目標値						目標値
				実績値						達成年度
達成度										
指標の種類				最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由										
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	市民からの申請事業であり、市が計画して施工するものではないが、予定より申請件数が少なかった。								
	成果指標	投資効果が高い路線を重点的に整備した結果、目標普及率を達成することができた。								
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容										